

PRIMERGY BX920 S4 / BX924 S4 サーバブレード ご使用上の留意・注意事項

PRIMERGY BX920 S4 / BX924 S4 サーバブレードに関して、下記の留意・注意事項がございます。本製品をお使いになる前に、本書をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

2019年4月
富士通株式会社

1. BIOS 設定のバックアップについて

マネジメントブレード Web ユーザーインターフェース[情報/操作]-[操作]-[バックアップ/復元管理]では、BX920 S4/BX924 S4 の BIOS 設定をバックアップできません。BIOS 設定は境設定シートに記入してください。

環境設定シートは下記 URL から入手できます。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual/>

2. シャーシ AC 電源オン後、または、サーバブレード搭載後にサーバブレードを起動した場合のシステムイベントログについて

シャーシの消費電力モードを[適応型電力制限](注 1)に設定されている状態で、シャーシの AC 電源オン後、または、サーバブレード搭載後にサーバブレードを起動した場合、BX920 S4 または BX924 S4 サーバブレードのシステムイベントログに以下のエラーメッセージが記録されることがありますが、サーバブレードの動作に問題はありません。

サーバブレードのシステムイベントログ

```
-----  
YYYY-MM-dd HH:MM:SS Info/Normal 'Power Limit': Limit not exceeded for power unit  
YYYY-MM-dd HH:MM:SS Info/Normal System power consumption within limit  
YYYY-MM-dd HH:MM:SS Major 'Power Limit': Limit exceeded for power unit  
YYYY-MM-dd HH:MM:SS Major System power consumption above critical level  
-----
```

(注 1) Web ユーザーインターフェースの[情報/操作]-[操作]-[電源管理]-[消費電力]タブ-[システム消費電力モード]メニューで [適応]にチェックが入っている。(出荷時設定は、[適応]です。)

対象コンポーネント： BX920 S4、BX924 S4 サーバブレード iRMC ファームウェア 全版数

3. 電源ユニットの活性交換・活性増設時の注意事項について

下記発生条件の何れかの設定をしている場合に、BX900 S2 シャーシ、かつ、高効率電源ユニット(PY-PU281)搭載時に電源ユニットの活性交換・活性増設を行うと搭載されたサーバブレードが一時的に CPU スローダウンが発生します。通常は元の CPU スピードに自動的に戻りますが、CPU のスローダウンが発生し続ける場合があります。

発生条件

- ① BIOS セットアップメニューで[Advanced メニュー]-[CPU Configuration]-[Power Technology]を“Energy Efficient”に設定
- ② BIOS セットアップメニューで[Advanced メニュー]-[CPU Configuration]-[Power Technology]を“Custom”に設定し、[Enhanced SpeedStep]を“Enabled”に設定
- ③ BIOS セットアップメニューで[Advanced メニュー]-[CPU Configuration]-[Power Technology]を“Disable”に設定し、MMB または iRMC 設定で iRMC 電源制御オプション設定を“電力制限”に設定
- ④ BIOS セットアップメニューで[Advanced メニュー]-[CPU Configuration]-[Power Technology]を“Custom”に設定かつ [Enhanced SpeedStep]を“Disabled”に設定し、MMB または iRMC 設定で iRMC 電源制御オプション設定を“電力制限”に設定

対象コンポーネント： BX920 S4/BX924 S4 iRMC ファームウェア Ver. 7.68F 未満

本問題は、iRMC ファームウェア Ver.7.68F で修正しました。

4. ビデオリダイレクション (Advanced Video Redirection) ご使用時のキーボード入力について

iRMC ファームウェア 7.38F をご使用の場合、iRMC S4 Web インターフェースのビデオリダイレクション (AVR) のご使用時に、キーボード入力ができない場合があります。AVR ウィンドウ内にあるメニューバーの「キーボード」メニュー→「ソフトウェアキーボード」から、ご使用になる言語のソフトキーボード (仮想キーボード) を選択してご使用ください。

本件は、iRMC ファームウェア 7.68F で修正しました。

5. LAN 拡張ボード (1Gbps) 搭載時の注意事項

iRMC ファームウェア 7.38F 適用後、稀に iRMC が再起動することがあります。

サーバブレードの拡張ボードスロット 2 に LAN 拡張ボード (1Gbps) を搭載している場合、以下をご留意ください。

BX900 S1/BX900 S2 シャーシをご使用の場合

マネジメントブレード Web ユーザーインターフェースを使用してサーバブレードの [メザニンカード 2 の動作設定] をご購入時設定から変更している場合、iRMC 再起動後、[メザニンカード 2 の動作設定] がご購入時設定に戻る場合があります。その場合は [メザニンカード 2 の動作設定] を再設定してください。

BX400 S1 シャーシをご使用の場合

サーバブレードの拡張ボードスロット 2 に搭載した LAN 拡張ボード (1Gbps) はコネクションブレード 3 とコネクションブレード 4 に 2 ポートずつ接続されています。iRMC 再起動後に各コネクションブレードへ 1 ポートずつの接続に変更されることがあります。その場合はマネジメントブレードを再起動してください。

本件は、iRMC ファームウェア 7.68F で修正しました。

6. UEFI モードの注意事項について

(1) UEFI モードについて

UEFI モードの設定方法や OS およびオプションのサポート状況に関しては、下記 URL をご参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/>

(2) UEFI モードでの OS インストールに失敗する場合があります

本製品では、BIOS 設定の [Boot] メニューの [UEFI Boot] は“Enabled”に設定してご使用になれません。

[UEFI Boot] を“Enabled”に設定して OS インストールを行うと、インストールに失敗する場合があります。この事象は“Disabled”（ご購入時設定）では発生致しません。

本件は、BIOS R1.6.0 で修正しました。

7. Intel TXT 機能について

本製品では、Intel TXT 機能 *1 はご使用になれません。

*1: Intel TXT 機能（インテル®トラステッド・エグゼキューション・テクノロジー）

8. SR-IOV 機能について

SR-IOV *1 機能は、Windows Server 2012, 2012 R2 環境で使用できます。

但し、CNA *2 ファームウェアは 10.2.405.32 以降の版数の適用が必要です。

VIOM *3 をご使用の場合は、V3.4.06 以降の版数をご使用ください。

*1: Single Root I/O Virtualization

*2: Converged Network Adapter

*3: ServerView Virtual-IO Manager

9. ソフトウェア RAID とハードウェア RAID の相違点について

本製品は、ソフトウェアの処理により RAID 機能を実現しております。ハードウェア RAID コントローラと比較すると、機能面・性能面に差がございます。詳細は下記 URL をご参照ください。

http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/hdd_construct/

http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/hdd_construct/note03.html

10. Windows イベントログについて

オンボード CNA *1 コントローラおよびコンバインド・ネットワーク・アダプタ拡張ボードにおいて、下記イベントが OS のイベントログに記録されることがありますが、動作上における支障はございませんので、そのままご使用ください。

*1: Converged Network Adapter

ソース : be2 net

イベント ID : 37

レベル : 警告

キーワード : クラシック

""Emulex OneConnect OCI11102-LOM *-port PCIe 10GbE Converged Network Adapter

#*: The device firmware does not support TCP offload functionality.""

11. ネットワークカード/サーバレード交換に伴う設定情報の再設定について

Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2 をご使用の場合、LAN 拡張ボードおよびコンバージド・ネットワーク・アダプタ拡張ボードまたはサーバレードの交換、待機系装置への切替え、他装置へのリストア等を行うと、ネットワークコントローラを新規追加部品と装置が認識するため、ネットワーク関連の設定情報（IP アドレス / Teaming 設定など）が初期化され、再設定が必要となります。

マイクロソフト社の以下の KB(Knowledge Base)を参照の上、事前に Hotfix を適用することで再設定を回避可能ですので、適用をお願い致します。

Windows Server 2008(SP2)	: KB2710558 (Hotfix 適用後、レジストリ変更が必要)
Windows Server 2008 R2	: KB2344941, KB976042 (SP1 適用時は、再度 Hotfix 適用が必要)
Windows Server 2008 R2 (SP1)	: KB2550978, KB976042

※ Hotfix 適用にあたっての注意事項

- ・ Hotfix はマイクロソフト社のサポートページから入手してください。
2013 年 9 月時点では、下記の URL から検索可能です。
<http://support.microsoft.com/?ln=en-us>
- Hotfix は、OS インストール時に搭載されていた部品情報を有効にするものです。
OS インストール後にシステムボード等を交換していた場合、OS インストール作業時の情報となります。
- Windows 2008 (SP 無)、Windows 2008 +SP1 用の Hotfix は公開されていません。
SP2 適用後に Hotfix を適用願います。

また、既にネットワーク関連の設定情報が初期化された場合も、Hotfix 適用により回復できる場合がありますので、この場合も適用をお願いします。

なお、Hotfix 適用によって回復しない場合は、ネットワーク関連情報の再設定が必要となります。この際、ハード変更前の LAN および CNA コントローラの情報が残っているため、変更前に使用していたネットワーク接続名を設定することができません。以前使用していたネットワーク接続名を使用する必要がある場合は、以下の作業後にネットワーク関連情報を再設定してください。

(1) デバイスマネージャを起動します。

コマンドプロンプトを開き、以下を実行してください。

```
set devmgr_show_nonpresent_devices=1  
start devmgmt.msc
```

(2) 非表示デバイスを表示可能にします。

デバイスマネージャで [表示] メニューの [非表示のデバイスの表示] をクリックしてください。

(3) コンピューターに接続されていない LAN コントローラを削除します。

色が薄く表示されている「ネットワークアダプタ」を削除してください。

12. メモリのミラードチャネルモードの使用時の注意事項

メモリミラードチャネルモードをご使用される場合は DIMM を次のように搭載してください。

【BX924 S4】

- 1 CPU 構成時、DIMM は 4 枚のみ搭載可（搭載位置は DIMM-1A,1B,1C,1D）
- 2 CPU 構成時、DIMM は 8 枚のみ搭載可（搭載位置は DIMM-1A,1B,1C,1D,1E,1F,1G,1H）

【BX920 S4】

- 1 CPU 構成時、DIMM は 2 枚のみ搭載可（搭載位置は DIMM-1B,1C）
- 2 CPU 構成時、DIMM は 4 枚のみ搭載可（搭載位置は DIMM-1B,1C,1E,1F）

13. iRMC の LAN ポートの設定について

- iRMC アドレス設定で LAN ポートを LAN1 又は LAN2 でご使用になる際は IPv4 に設定ください。
- マネジメントブレードの Web インターフェースで iRMC の LAN ポートの設定を LAN1 から LAN2 に変更する場合、変更が適用されません。一度、管理 LAN に設定後に LAN2 へ変更してください。
LAN2 から LAN1 への変更も同様です。

14. ファイバーチャネル拡張ボード（8Gbps）について

ファイバーチャネル拡張ボード（8Gbps）をご使用の場合、サーバ起動時にファイバーチャネル拡張ボード（8Gbps）を認識する画面が 2 度表示されたり、サーバ起動時に"F12"押下でブートメニューを表示させると 2 つのターゲットが表示されたりしますが、どちらを選択しても同じ動作となります。

15. 騒音について（BX924 S4 のみ）

本製品を BX900 S1/ S2 シャーシ搭載時、シャーシの FAN 回転数が増加する場合があります、運用時の動作音が大きくなることがあります。

16. Xeon プロセッサ E5-2637v2/2643v2/2667v2/2690v2/2697v2 について （BX924 S4 のみ）

本プロセッサを搭載し、内蔵ストレージデバイスをご使用される場合は、吸気温度が 30℃未満の環境でご使用ください。

17. 内蔵ストレージデバイスのオンボード SAS/SATA コントローラ接続について

本製品では、オンボード SAS/SATA コントローラに内蔵ストレージデバイスを Native 接続（非 RAID 構成）してご使用になれません。オンボード SAS/SATA コントローラに内蔵ストレージデバイスを接続する場合は、必ず RAID を構成する必要があります。ただし、VMware をご使用になる場合を除きます。

18. VMware™ について

- VMware のサポート状況については下記 URL を参照してください。
<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/support/>
- VMware ではオンボード SAS/SATA コントローラでの RAID 構成は未サポートです。
- VMware をご使用になる場合は、BIOS 設定を変更する必要があります。以下をご覧になり BIOS 設定を変更してください。

オンボード SAS/SATA コントローラに内蔵ストレージデバイスを接続する場合

BIOS 設定の [Advanced] メニュー - [Onboard Devices Configuration] サブメニューの [Onboard SAS/SATA (SCU)] と [SAS/SATA OpROM] を下記設定にしてご使用ください。

Onboard SAS/SATA (SCU) : Enabled (ご購入時設定)

SAS/SATA OpROM : Intel RSTe (ご購入時設定は“LSI MegaRAID”)

SAS アレイコントローラ拡張ボード/SAS アレイコントローラモジュールに内蔵ストレージデバイスを接続する場合

BIOS 設定の [Advanced] メニュー - [Onboard Devices Configuration] サブメニューの [Onboard SAS/SATA (SCU)] を“Disabled” (ご購入時設定は“Enabled”) に設定してご使用ください。

19. メモリ 64GB について（BX924 S4 のみ）

- 2DPC（DPC=チャンネルあたりの DIMM 数）以下で使用する必要があります。
- 吸気温度 30℃未満の環境にてご使用ください。

20. SAS コントローラ拡張ボード/SAS アレイコントローラ拡張ボードのご使用の場合の注意事項

SASコントローラ拡張ボード(PY-SCD08/PYBSCD082)またはSASアレイコントローラ拡張ボード(PY-SRD08/PYBSRD082)をご使用の際は、BIOS 設定の[Advanced]メニュー-[Option ROM Configuration]-[Launch Slot 3 OpROM]を[Enabled]に設定してご使用ください。

21. Windows Server 2012 の「記憶域スペース」ご使用の場合の注意事項 (BX920 S4 のみ)

「記憶域スペース」に使用する PRIMERGY SX980 S2 ストレージブレードおよび JX40 の HDD の状態監視は Server View RAID Manager では行えません。

22. 電源ボタン押下時の注意事項

サーバブレードの電源ボタン押下時に稀に電源表示ランプが黄色に表示され起動しないことがあります。起動しない場合は再度、電源ボタンを押下して起動してください。

(電源ボタンの押下以外の電源投入時では発生しません。)

[BX924 S4 のみ]本件は、iRMC FW 7.23F で修正しました。

23. iRMC Web インターフェースにおける RAID 監視機能について

- iRMC S4 Web インターフェースでの RAID 監視機能はサポートしていません。
 - BX920 S4 iRMC ファームウェア 7.14 F では iRMC S4 Web インターフェースの「RAID 情報」→「Settings」は Disable でご使用ください。Disable の場合は「RAID monitoring is currently disabled」と表示されます。7.19F 以降ではご購入時の設定でご使用の場合は表示されません。
 - BX924 S4 ではご購入時の設定でご使用の場合は表示されません。
- iRMC ファームウェア 7.19F 以降で BIOS セットアップユーティリティの [Server Mgmt] メニューで [Load iRMC Default Values] を [Yes] に設定し、iRMC ファームウェアを再起動すると「RAID 監視機能」が有効になり、HDD/RAID 関連の不要なメッセージが記録されます。
以下の弊社 URL から「PRIMERGY BX920 S4 BIOS(R1.6.0) / iRMC ファームウェア(7.19F) / CNA ファームウェア(4.6.313.14) アップデートツール V1.0L10」をダウンロードし、『iRMC Web インターフェースでの RAID 監視機能の無効化手順』を実施してください。
<http://www.fmworld.net/cgi-bin/drviasearch/drviaindex.cgi>
- **[BX920 S4 のみ]**iRMC ファームウェア 7.23F をダウンロードして適用した場合、上記のように「RAID 監視機能」を有効にしてしまうと無効に戻すことができません。
上記と同様に「PRIMERGY BX920 S4 BIOS(R1.6.0) / iRMC ファームウェア(7.19F)/CNA ファームウェア(4.6.313.14) アップデートツール V1.0L10」をダウンロードし、7.19F にダウングレード後、『iRMC Web インターフェースでの RAID 監視機能の無効化手順』を実施してください。
なお、7.23F から 7.19F にダウングレードする際は、『PRIMERGY BX920 S4 / BX924 S4 BIOS / iRMC ファームウェア / CNA ファームウェア アップデートツール使用手順書』内の「6.2 iRMC ファームウェアアップデート」の(9)、(10)、(17)で「ファームウェア変更」の設定を「書き込み日が新しいファームウェア」に設定・確認し、(11)以降を実施してください。ファームウェア 1/ファームウェア 2 の両方をダウングレードするために、(19)～(25)は 2 度実施する必要があります。

24. iRMC 設定の復元について

サーバブレードの保守交換等により、iRMC Web インターフェースで設定保存時の iRMC 版数と復元時の iRMC 版数が異なる条件で iRMC 設定を復元する際の注意事項について記載します。

iRMC FW 版数が下表の条件に該当する場合、注意が必要です。

対象機種	対象となる iRMC 設定 保存・復元時の FW 版数		注意事項 (下記、A-1, A-2, B)
	設定保存時 の FW 版数	設定復元時 の FW 版数	
BX924 S4 BX920 S4	7.14F 以前	7.19F 以降	・「B」を参照
	7.19F, 7.23F	7.68F 以降	
	7.38F	7.68F	
		7.70F 以降	・「B」を参照 かつ ・SNMP コミュニティを public(初期値)のままご使用の場合は、「A-2」を参照 ・SNMP コミュニティを public 以外に設定してご使用の場合は、「A-1」を参照
	7.68F	7.70F 以降	・SNMP コミュニティを public(初期値)のままご使用の場合は、「A-2」を参照 ・SNMP コミュニティを public 以外に設定してご使用の場合は、「A-1」を参照

※ 下記 A-1, A-2, B の表に記載している iRMC 設定復元失敗を表示しても、他の設定情報については正しく復元が完了しておりますので問題ありません。

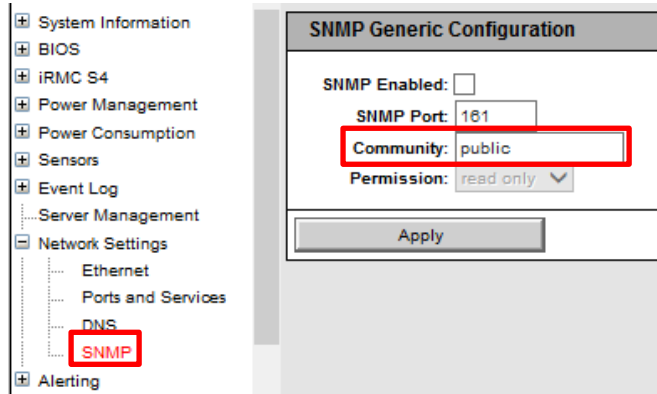
A-1. SNMP コミュニティを public(初期値)以外に設定してご使用の場合、設定保存時の iRMC 版数と復元時の iRMC 版数が異なる条件で iRMC 設定を復元する際に、下表に記載する設定復元失敗が発生する場合があります。これは、iRMC 版数互換の不具合により発生するもので、SNMP コミュニティの設定情報が引き継がれず public が設定されます。現在ご使用の装置の iRMC Web インターフェースで SNMP コミュニティ名を確認し、iRMC 設定の復元後に SNMP コミュニティ名を変更してください。

A-2. SNMP コミュニティを public(初期値)のままご使用の場合でも、設定保存時の iRMC 版数と復元時の iRMC 版数が異なる条件で iRMC 設定を復元する際に、iRMC 版数互換の不具合により下表に記載する設定復元失敗が発生する場合があります。但し、iRMC 設定の復元後も public が設定されていますので、本メッセージは無視してください。

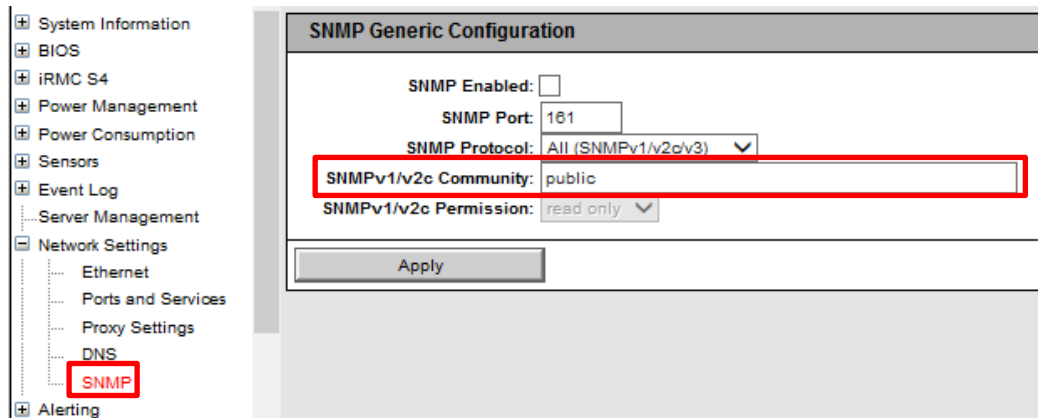
SNMP コミュニティ名の復元失敗時のメッセージ	対象機種	対象となる iRMC 設定 保存・復元時の FW 版数	
		設定保存時 の FW 版数	設定復元時 の FW 版数
OC="ConfigSpace" OE"1405" OI="1" - String Write to ConfigSpace failed.	BX924 S4	7.38F	7.70F 以降
	BX920 S4	7.68F	

[SNMP コミュニティ名の設定画面]

・iRMC FW 7.38F~7.73F

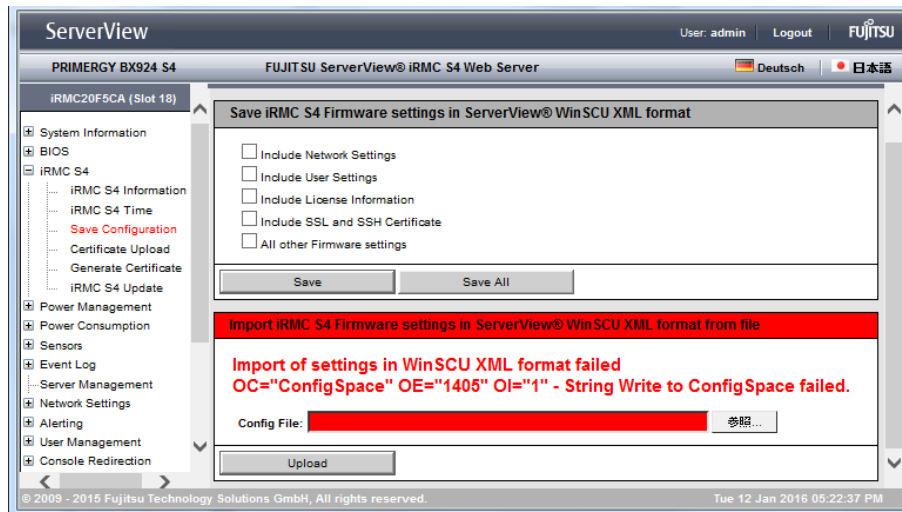


・iRMC FW 7.82F 以降



[SNMP コミュニティ名の復元失敗時の例]

・BX924 S4 にて、iRMC FW 7.68F で保存した設定情報を iRMC FW 7.82F の装置に復元した場合



対処：SNMP コミュニティを public(初期値)以外に設定してご使用の場合、iRMC 設定の復元後に SNMP コミュニティ名を変更してください。

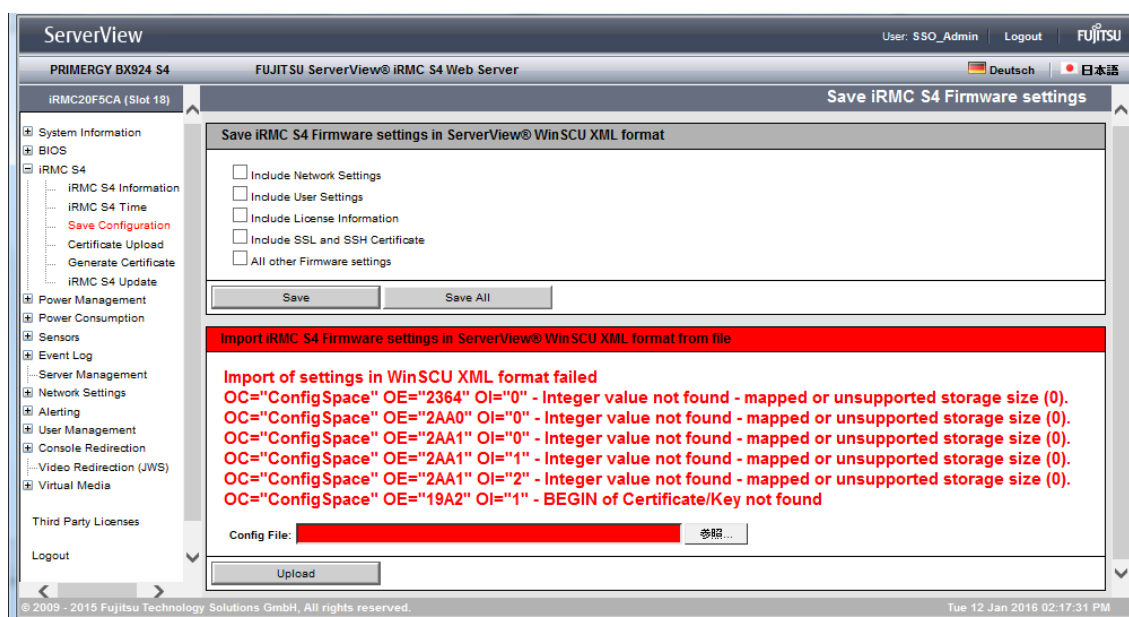
SNMP コミュニティを public のままご使用の場合、上図のメッセージが示す iRMC 設定の復元失敗は、ご使用上問題ありませんので作業を継続してください。

- B. 設定保存時の iRMC 版数と復元時の iRMC 版数が異なる条件で iRMC 設定を復元する際に、下表に記載する設定復元失敗が発生する場合があります。これらは、未使用である設定情報の iRMC 版数互換の不具合により発生するもので、機能への影響はありませんので、本メッセージは無視してください。

機能に影響がなく、ご使用上問題のない iRMC 設定復元失敗時のメッセージ	対象機種	対象となる iRMC 設定 保存・復元時の FW 版数	
		設定保存時 の FW 版数	設定復元時 の FW 版数
OC="ConfigSpace" OE="2364" OI="0" - Integer value not found - mapped or unsupported storage size (0).	BX924 S4	7.12F	7.19F 以降
OC="ConfigSpace" OE="2AA0" OI="0" - Integer value not found - mapped or unsupported storage size (0).	BX924 S4	7.12F	7.19F 以降
OC="ConfigSpace" OE="2AA1" OI="0" - Integer value not found - mapped or unsupported storage size (0).	BX924 S4	7.12F	7.19F 以降
OC="ConfigSpace" OE="2AA1" OI="1" - Integer value not found - mapped or unsupported storage size (0).	BX920 S4	7.14F	7.19F 以降
OC="ConfigSpace" OE="2AA1" OI="2" - Integer value not found - mapped or unsupported storage size (0).			
OC="ConfigSpace" OE="19A2" OI="1" - BEGIN of Certificate/Key not found	BX924 S4 BX920 S4	7.38F 以前	7.68F 以降

[iRMC 設定の復元失敗時の例]

- ・BX924 S4 にて、iRMC FW 7.12F で保存した設定情報を iRMC FW 7.82F の装置に復元した場合



対処：上図のメッセージが示す iRMC 設定の復元失敗は、ご使用上問題ありませんので作業を継続してください。

25. ID ボタン操作について

iRMC ファームウェア版数 9.08F 以降で、ID ボタン操作による iRMC リセット機能が追加されました。従いまして、ID ボタン操作による動作および ID ランプの点灯は以下の通りです。

[ID ランプを点灯させる]

・ID ボタンを押すと、ID ランプは青色で点灯します。4 秒以下で離すと ID ランプは点灯のままです。

[iRMC をリセットする]

・ID ボタンを 5 秒以上押すと、ID ランプは青色の点灯から点滅に変わります(*)。ID ランプの点滅中に離すと、1～2 秒後に iRMC がリセットされます。

[NMI を発行する]

・ID ボタンを 5 秒以上押すと、ID ランプは青色の点灯から点滅に変わります(*)。ID ランプの点滅中に離し、1 秒以内にもう一度押すと、NMI が発行されます。

* iRMC ファームウェア 8.86F 以前の版数では、ID ボタンを 5 秒以上押しても ID ランプは青色の点灯のままです。

対象：iRMC ファームウェア 9.08F 以降

なお、本件は以下のマニュアル記載該当箇所の訂正となります。

『BX92x S4 サーバブレード オペレーティングマニュアル』の「6.1 各部名称」の “ID ボタン”

『BX92x S4 サーバブレード アップグレード&メンテナンスマニュアル』の「5.1.11 ID ランプの点灯」(BX920 S4), 「5.1.10 ID ランプの点灯」(BX924 S4)の “フロントパネルの ID ボタンを使用する”

26. メモリ搭載時の注意事項について

(BX924 S4 のみ)

メモリ-8GB (8GB 1866 RDIMM×1) [PY-ME08SA2/PYBME08SA2] と メモリ-16GB (16GB 1866 RDIMM×1) [PY-ME16SA2/PYBME16SA2] を混載搭載することはできません。

オンボード コンバージド・ネットワーク・アダプタに関する留意事項については、下記 URL に掲載している、

『CNA (コンバージド・ネットワーク・アダプタ) および CNA カード・CNA 拡張ボードご使用上の留意・注意事項』をご参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual/>

以上